



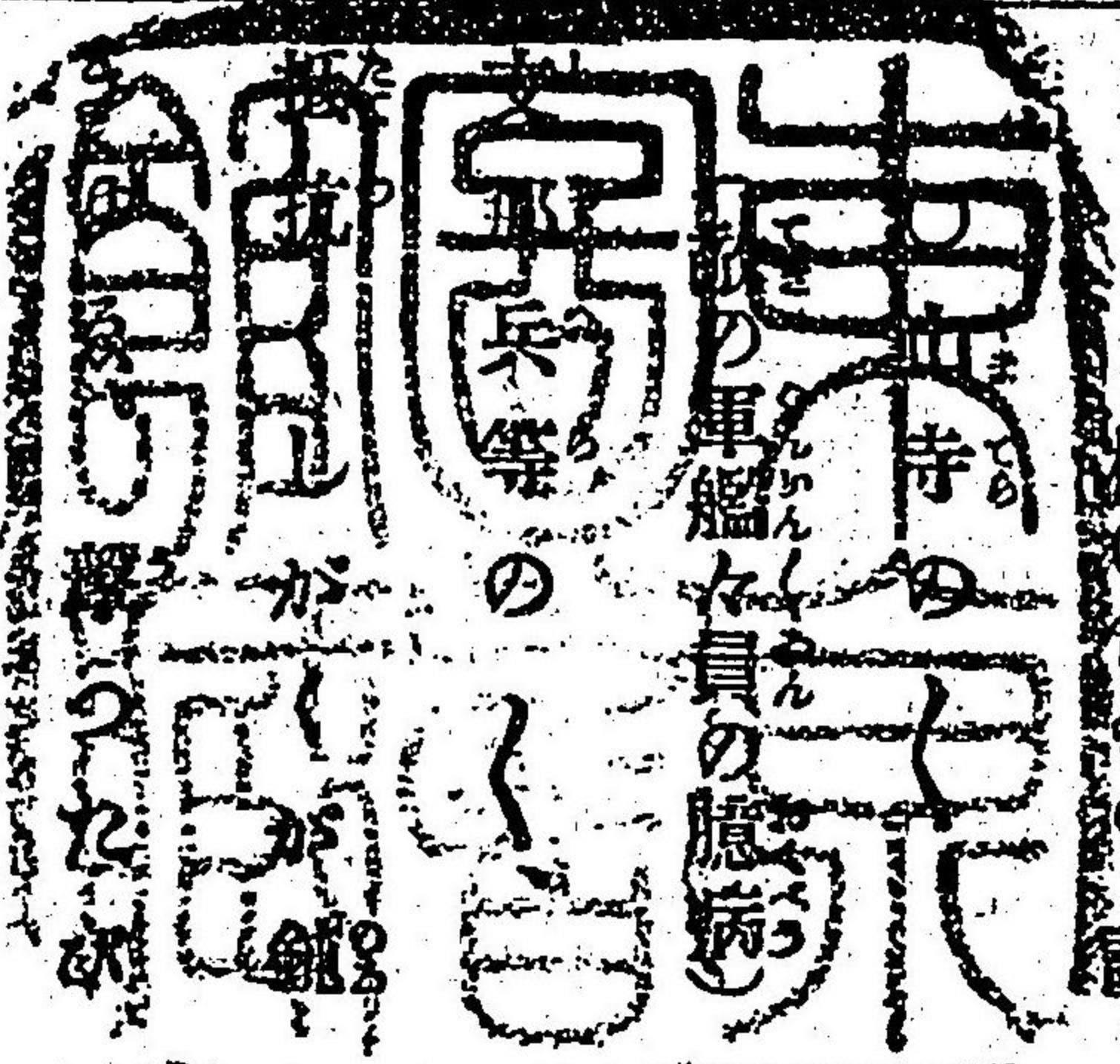


特53  
127

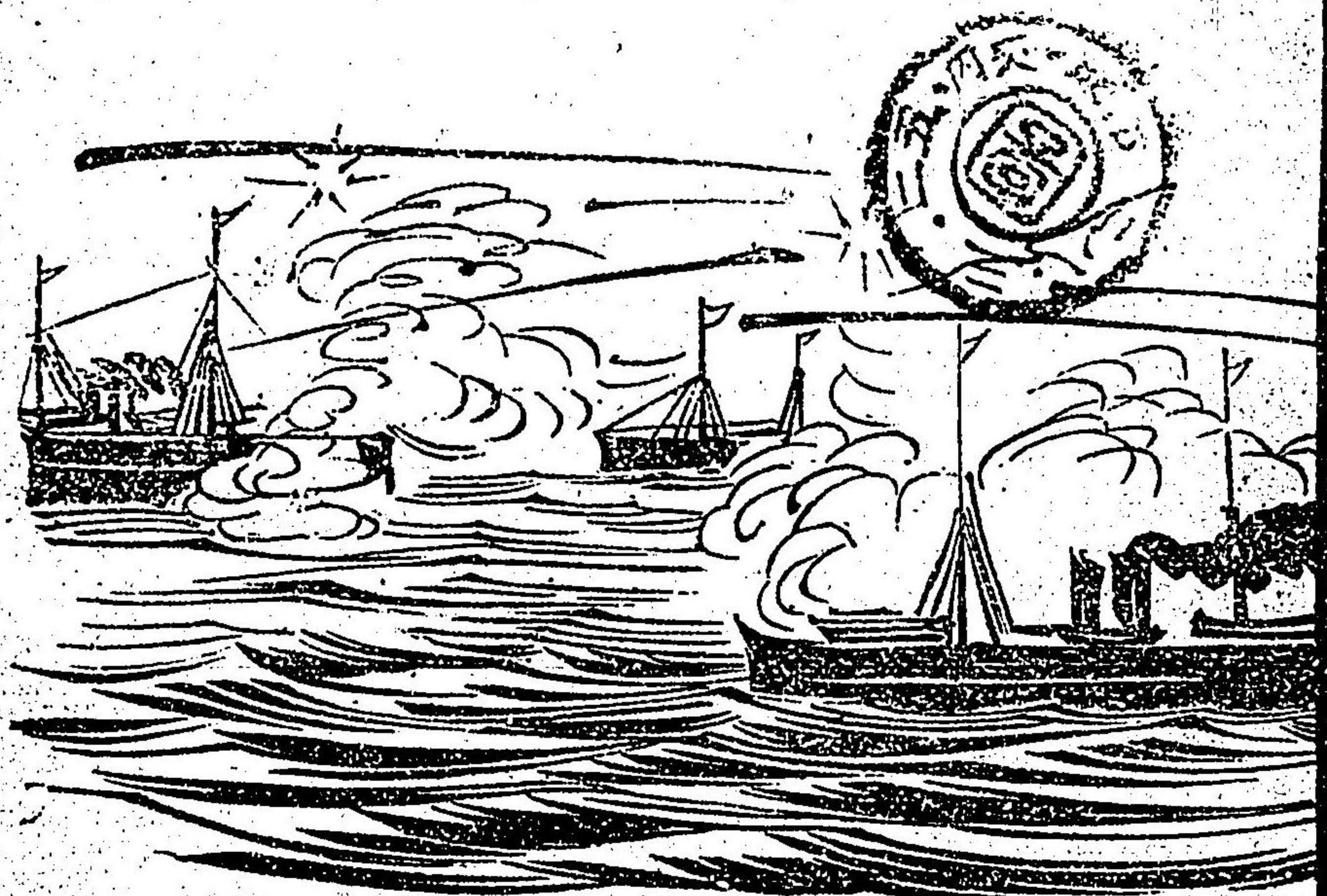
一 日清戦争流行かへうた

日清戦争流行かへうた

松の舎みどり調



毎にピツクリシヤ  
クリと、

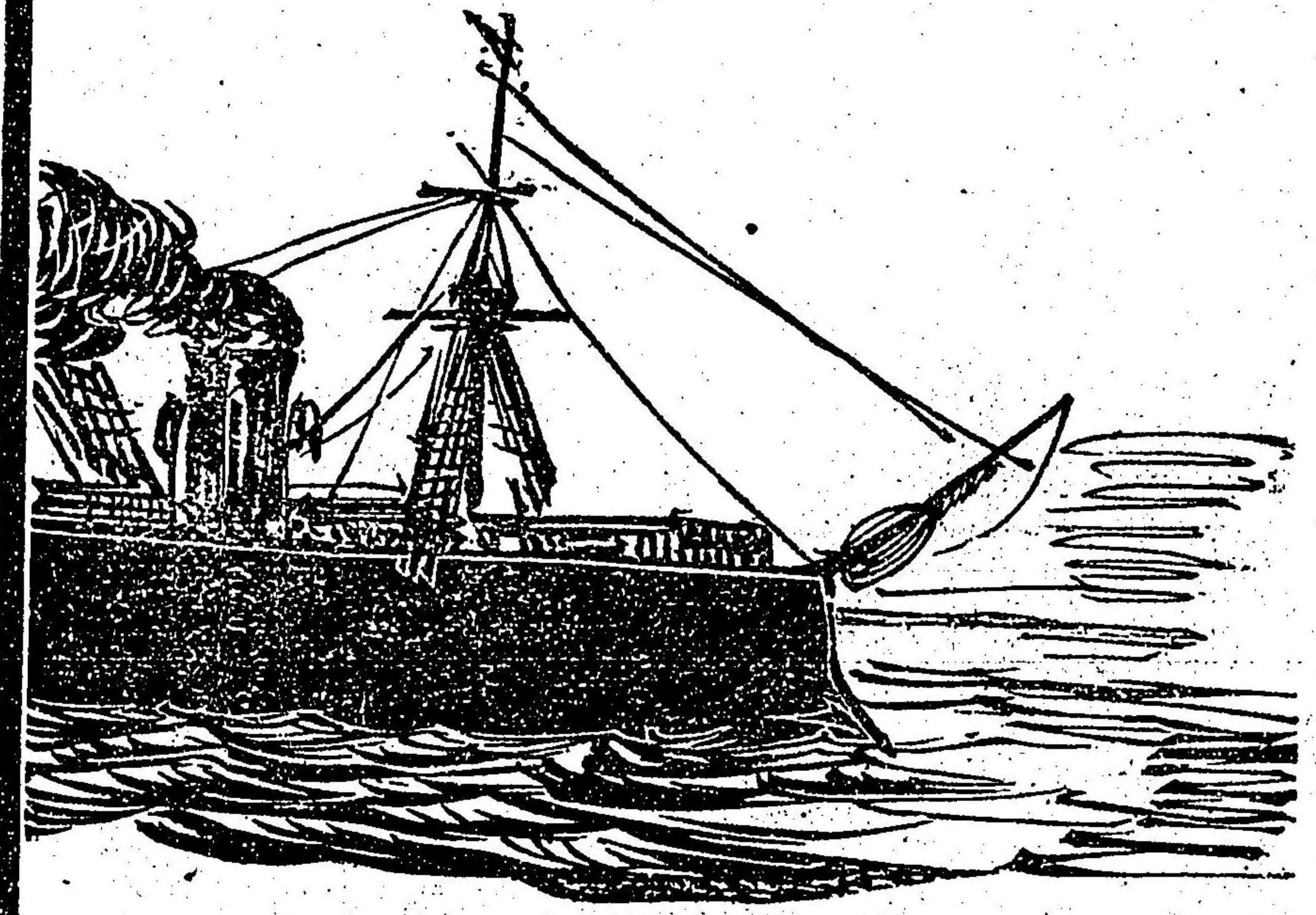




○金毘羅船々

(黄海戦争敵の敗艦)

今度は負け、追  
風に帆かけて、シユ  
ラ、シユツ、シユ、シユ  
廻れば自國は山東  
なかの土地、天津此  
方の太沽だよ、まい  
ちと廻れば今回は



天津、追風に帆かけ  
て、シユラ、シユツ、シ  
ユ、シユ、

○琉球ぶし

(支那人足兵の心いき)

慾と金次第で生つ  
どきなれば買はれ  
て酒代をせしめた  
し、シヌリヤヨメヨ





日清戦争行かへ唄

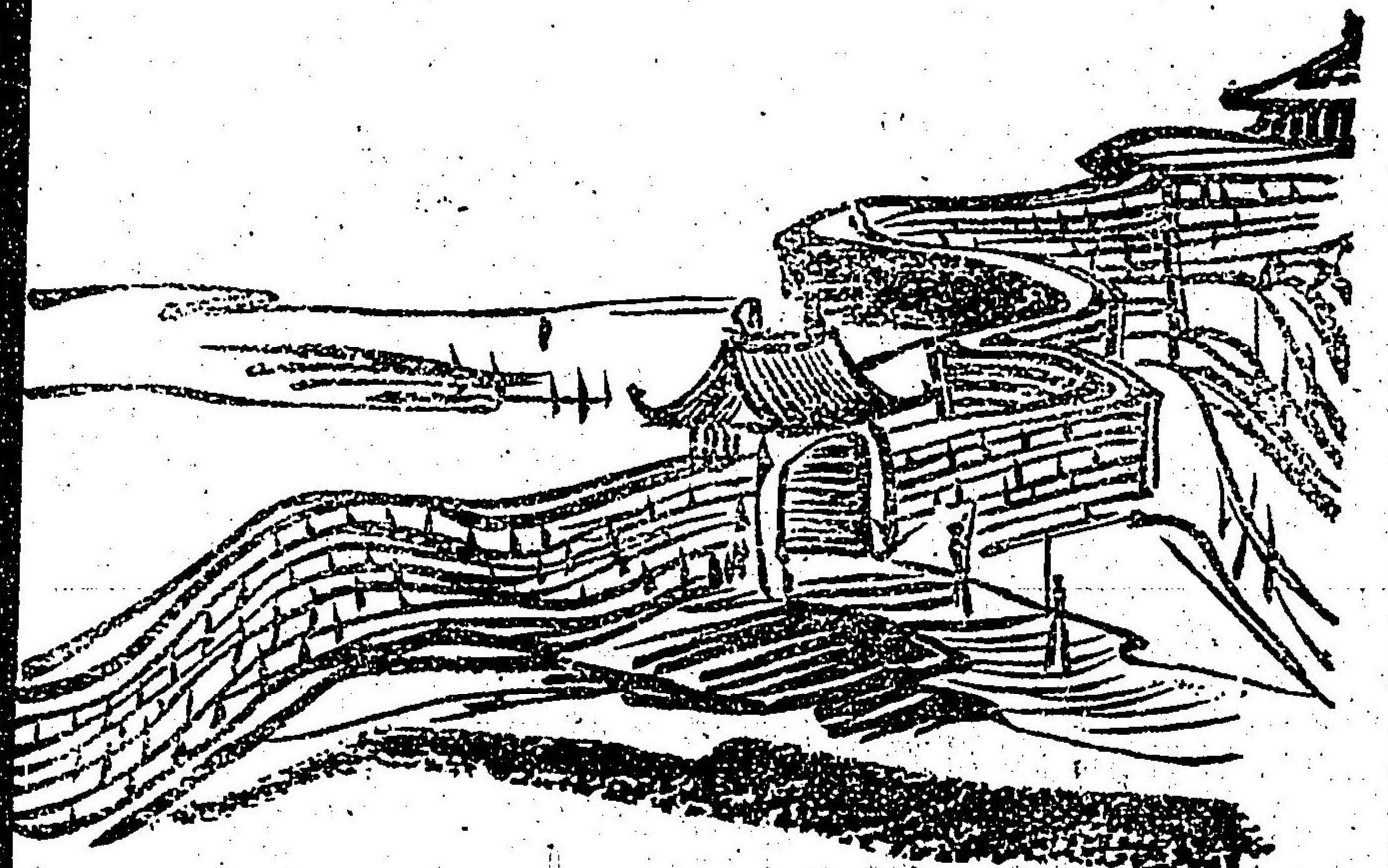
おまへ(支那軍)は負  
 けく大同江の外  
 金銀塊捕獲れ、勝ぬ  
 に其日の暮までも  
 コチヤマケハセ  
 マ、マケハセマ、コ  
 チヤエ、く

◎おまへはまぢく  
 (平壤の清軍)



日清戦争行かへ唄

メ、シンニヨタヨタ  
 シテガンガン、  
 ○高い山  
 (支那兵の頭上)  
 高い山から、支那兵  
 を見ればナ、瓜やな  
 すびの、替の様なヨ  
 アレハドンくく  
 コレハドンくく





○野毛の山

(清兵の敗勢)

大城山からノイエ  
大城山からノイエ  
大城のサイく山  
から平壤城を見れ  
ば、大層うるたへノ  
イエ、大層狼狽ノ  
イエ、大層サイく、う



るたへ遁出やうす

○宮さんく

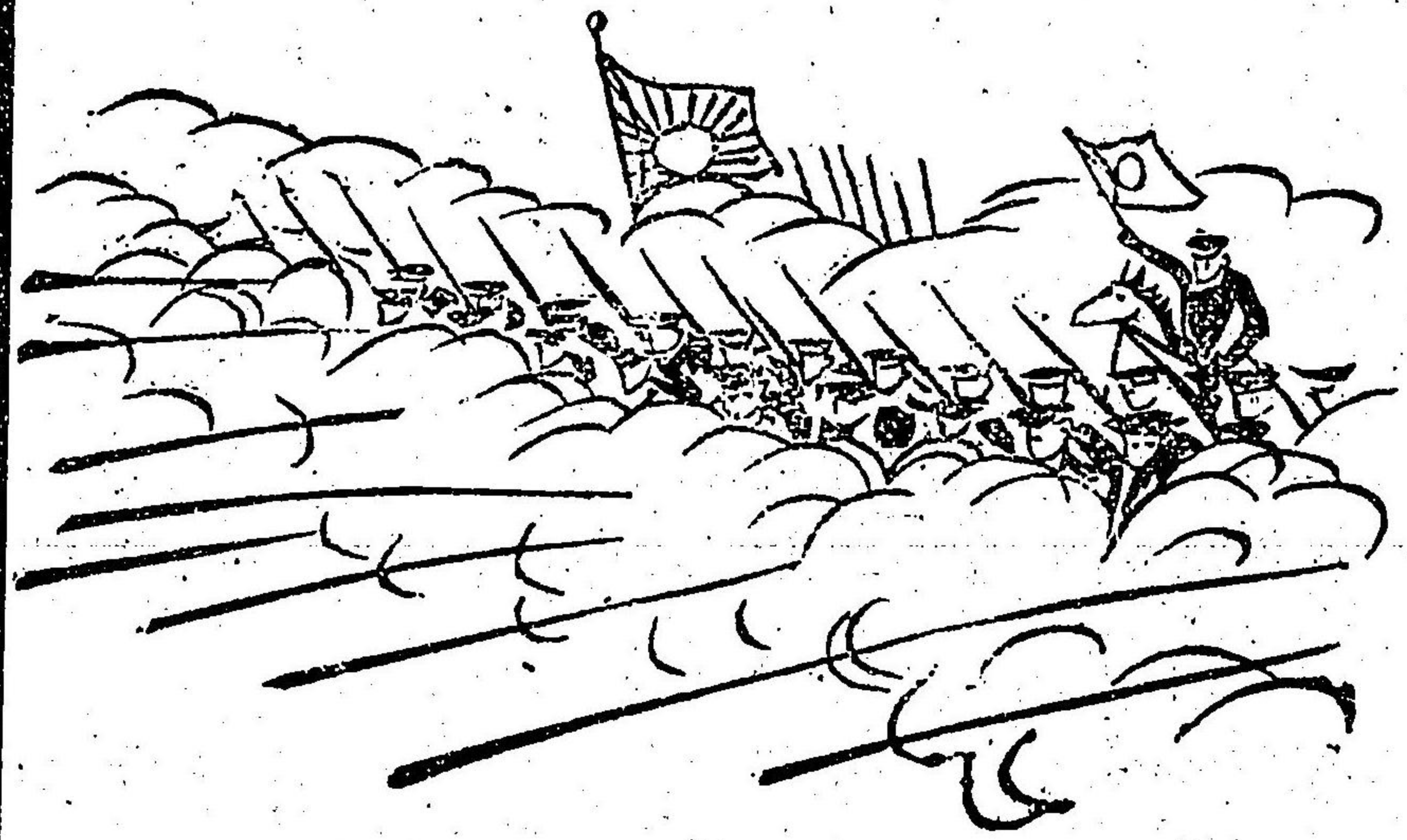
(日本刀)

皆さんく今度の  
いくさにキラく  
するのはアリヤ何  
だ、清國征伐日本  
の刀を知らないか、ト  
コトノヤレトノヤ





八レナ、  
 ○同 (軍旗)  
 皆さんく軍馬の  
 前にヒラくする  
 のはアリヤ何だ、清  
 國征伐日本の軍旗  
 を知らないか、トコト  
 シヤレトシヤレナ  
 ○ちよんきな



(清兵斬殺)  
 清兵来なく 清兵  
 来なく、清兵ヨ此  
 手でチヨト斬るよ  
 ◎丹後の宮津  
 (平壤の敵の敗北)  
 二度も勝てない今  
 度の始末、支那の身  
 上がかからになる、今





一度の始末でヒソヒソ  
出した、

〇一里二里なら

(支那の敗北)

一度二度なら我慢

も出来よ、五度と敗

げ出しや、サツユラ

サノサ、金たより、セ

ツセ、



◎お憎さん

(清兵の戦闘力)

オイ支那どん、汝は

ね、ほんとに気が長

いね、どこまでも拒

ぐかへ、それでね、東

にね、出て来てね、敵

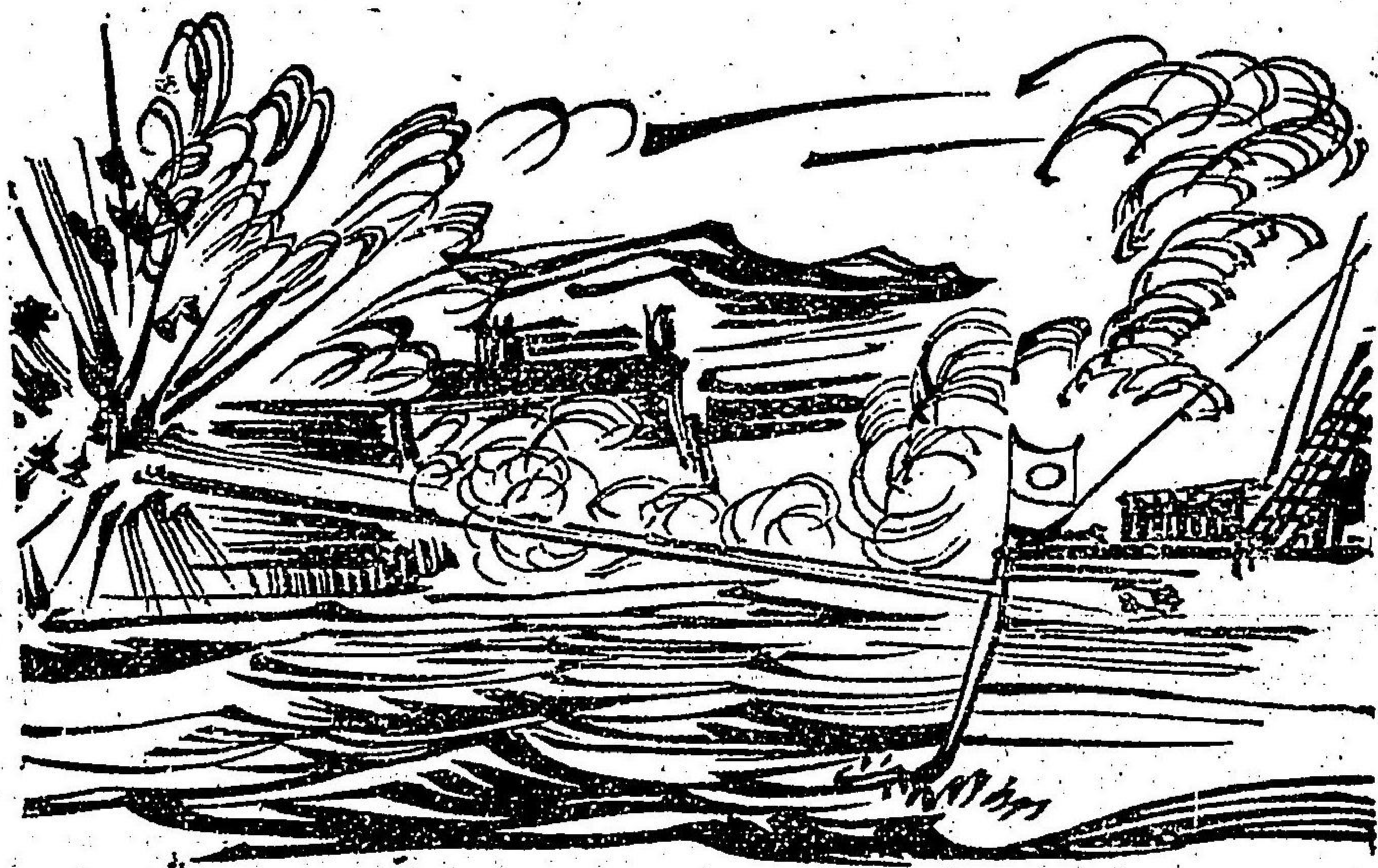
に取て日本に勝て

ろかよ、





見ゆる、ア、レは清國  
 沖の明いのに白旗  
 (操江號)  
 〇沖の暗いのに  
 ソウヤヤナイカドンク  
 る煙は勝のたね、  
 は揚る、ドンク、揚  
 蒸氣や出て行く、煙  
 (我海軍の勝勢)



〇雨はホロリク  
 (清兵の敗れ口)  
 銃丸はホロリク、  
 砲火ピカクピ  
 カ、砲聲ドンク、と  
 いふて、畏れ出した  
 が、敗の端、  
 〇蒸氣や出行く





降参艦、ヤレコノコ

レハノサ、セツセ、

○オツペケペー

(平壤戦況)

ペケペー、ペツポー

ポー、今の戦は速い

ねへ、クルツプ新式

重寶だね、ボンと撃

出しや数萬の、敵も



ちりくと撃飛ばす、ペケペー、ペツポー、ポー、四軍

の味方が三方から共に圍んで撃込んで、是でも

懲りぬか支那兵、ペケペー、ペツポー、ポー、白旗建

てたで降参を爲るかど、思たら遁仕度、ペケペー

ペツポー、ポー、其計は知ツたが急いたら日敷が

か、ツて面倒な、遁路軍勢張かまへ、待つ間にこ

そく遁て出たペケペー、ペツポー、ポー、それ來

た討取れ遁すなど、大砲小銃は鳴響き煙は舞ふ

て天を閉ぢ、死骸の山に血の川よ、これ見りや身



の毛もよだつかね、ペケペー、ペツポツポ、ペー

○同 (黄海戦況)

ペケペー、ペツポツポ、艦の戦は激しいね、甲鐵  
巡航重寶だね、ボンと撃出しや數十の敵艦いづ  
れも撃沈む、ペケペー、ペツポ、健氣に来る  
かと思ふたら、四艘も相率て遁出す、追かけ沖へ  
と逐出し、ペケペー、ペツポ、取巻きヒヨコ  
ツク敵艦を狙ひを定めて一放し、ボンと撃たら  
火薬庫爆せて其火が燃上る、ペケペツポツポ、

後部から火が燃  
前部へ来る、乗組  
兵うるたへて、煙突  
自がけて走り寄り  
人の山して泣ひし  
る其うち其艦沈ん  
だね、ペケペー、ペツ  
ポ、ポ、ペー、ペー

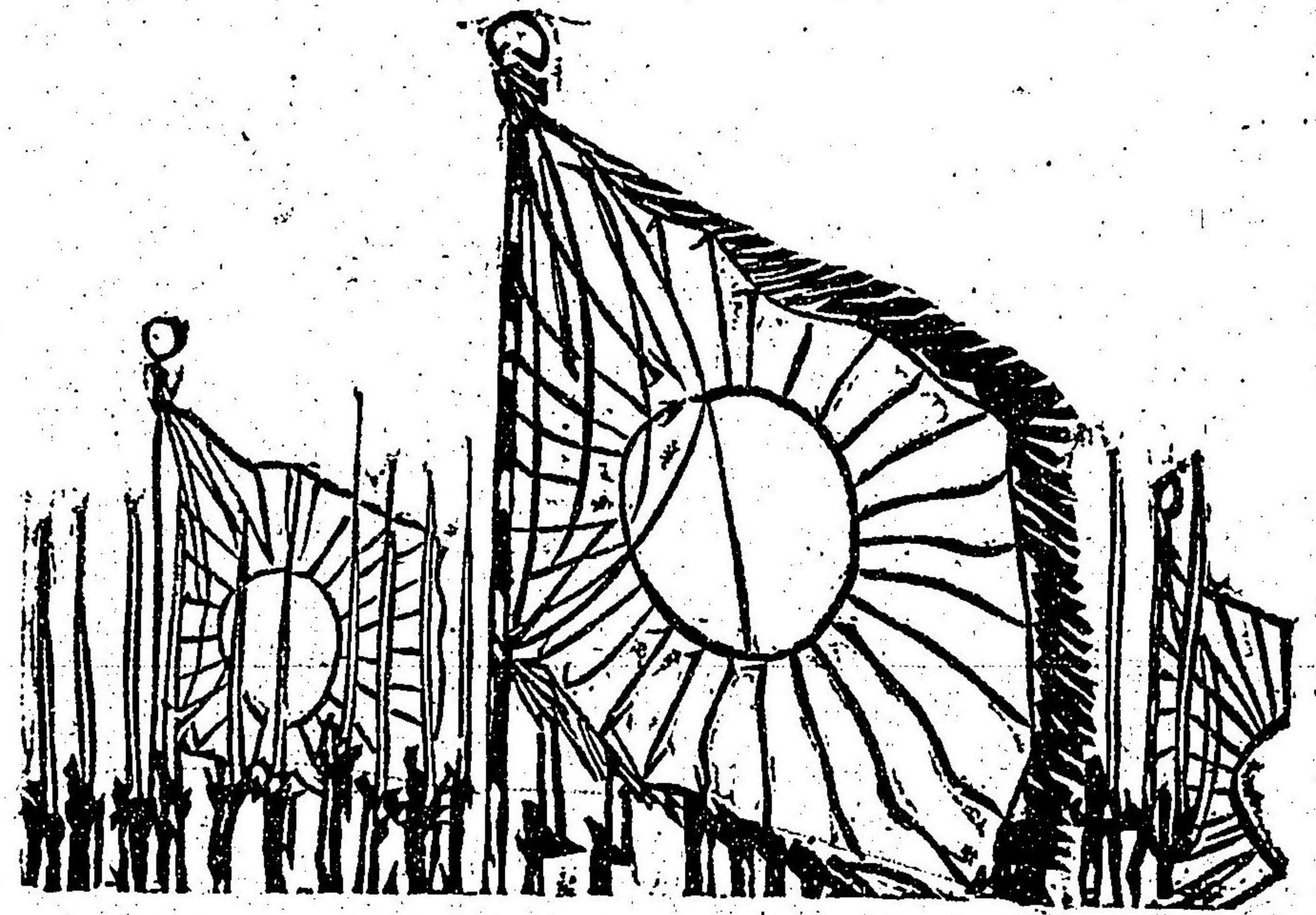
○通はしやんせ





(日本の堅固)

敗けやしやんせ、敗  
けやしやんせ、滅法  
矢鱈に敗けやしや  
んせ、此方にや軍醫  
あり皇軍あり、兵力  
澤山ある、四百(餘州)  
や四億(支那人口)は  
何のその、チモマア

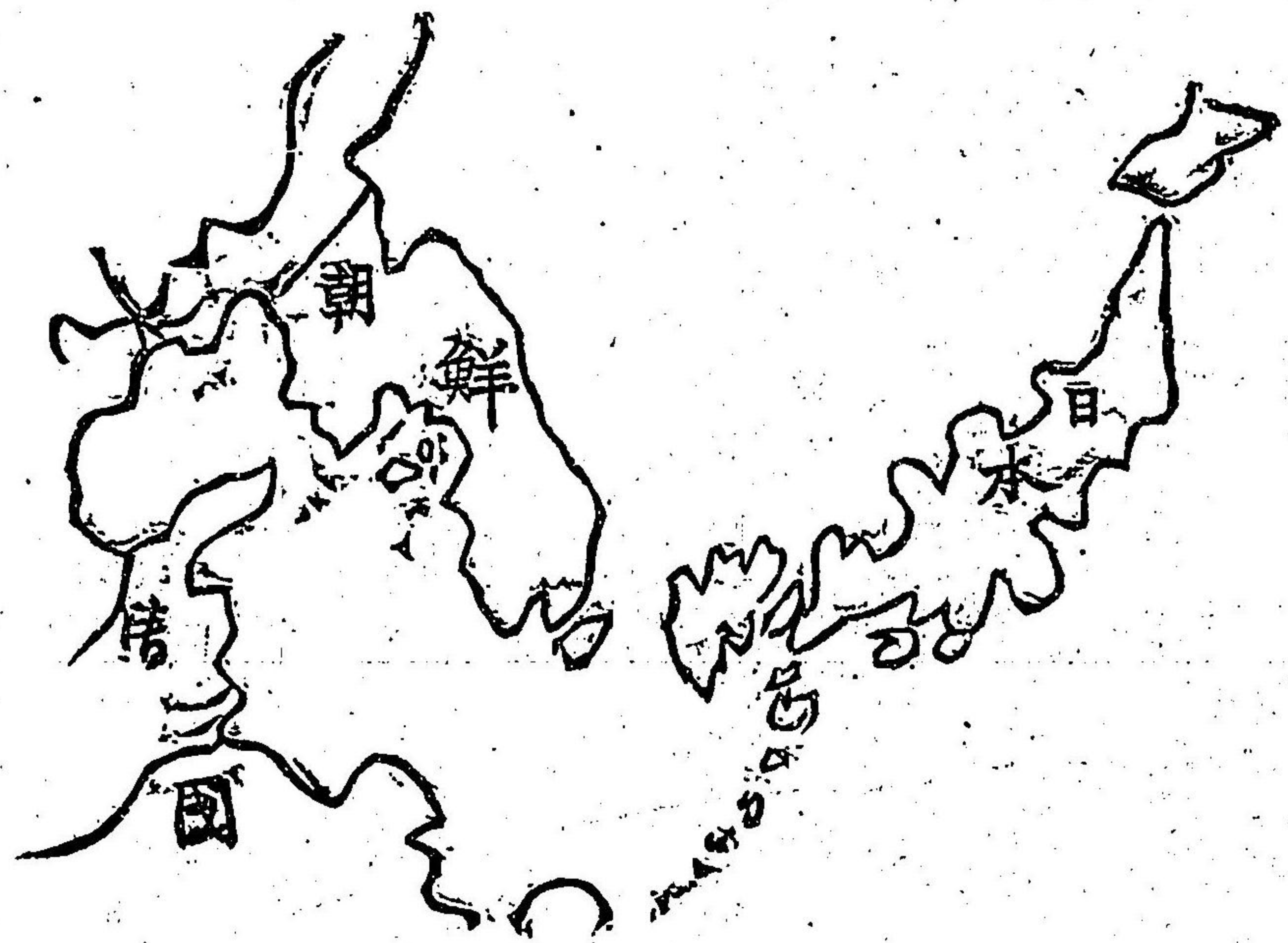


堅固な武國(日本)は  
可、ヒヤク

○男よいとて

(支那の自尊を駁す)

廣い國とて、けんた  
いぶるな、人口が衆  
くて大國で、それで  
皆んなが負るなら  
獨活の大木か柱木





になせに代りに、  
レナンマイ爲れな  
んだ。

○十四、の春から

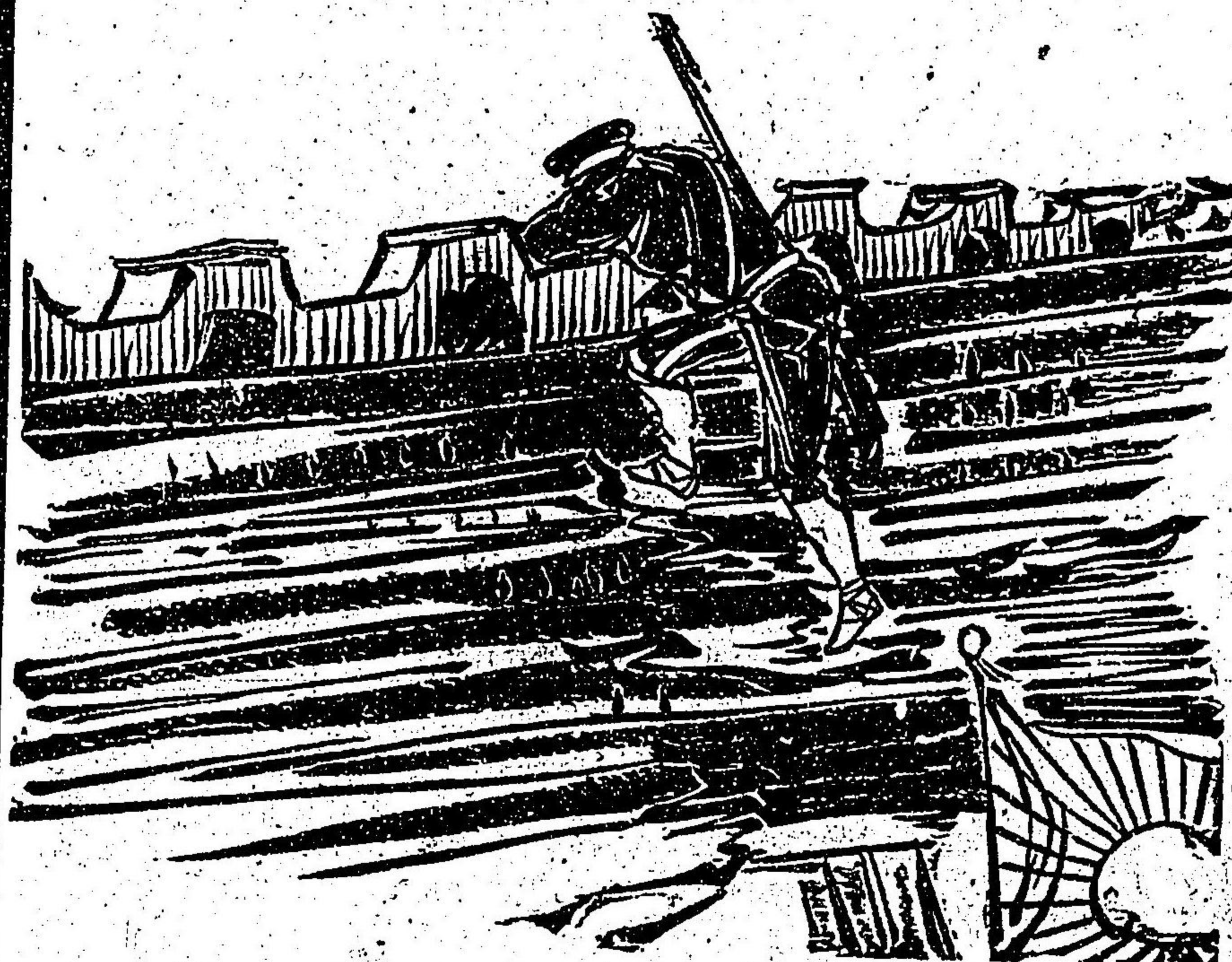
通はせおいて

(清國遠約我軍必勝)

天津條約結んで置

いて、今更いやとは

強慾だ、兵隊送るが



固めよが、其方の大

將がたてつこかい

くら丈夫な城ある

が、此役や勝たなさ

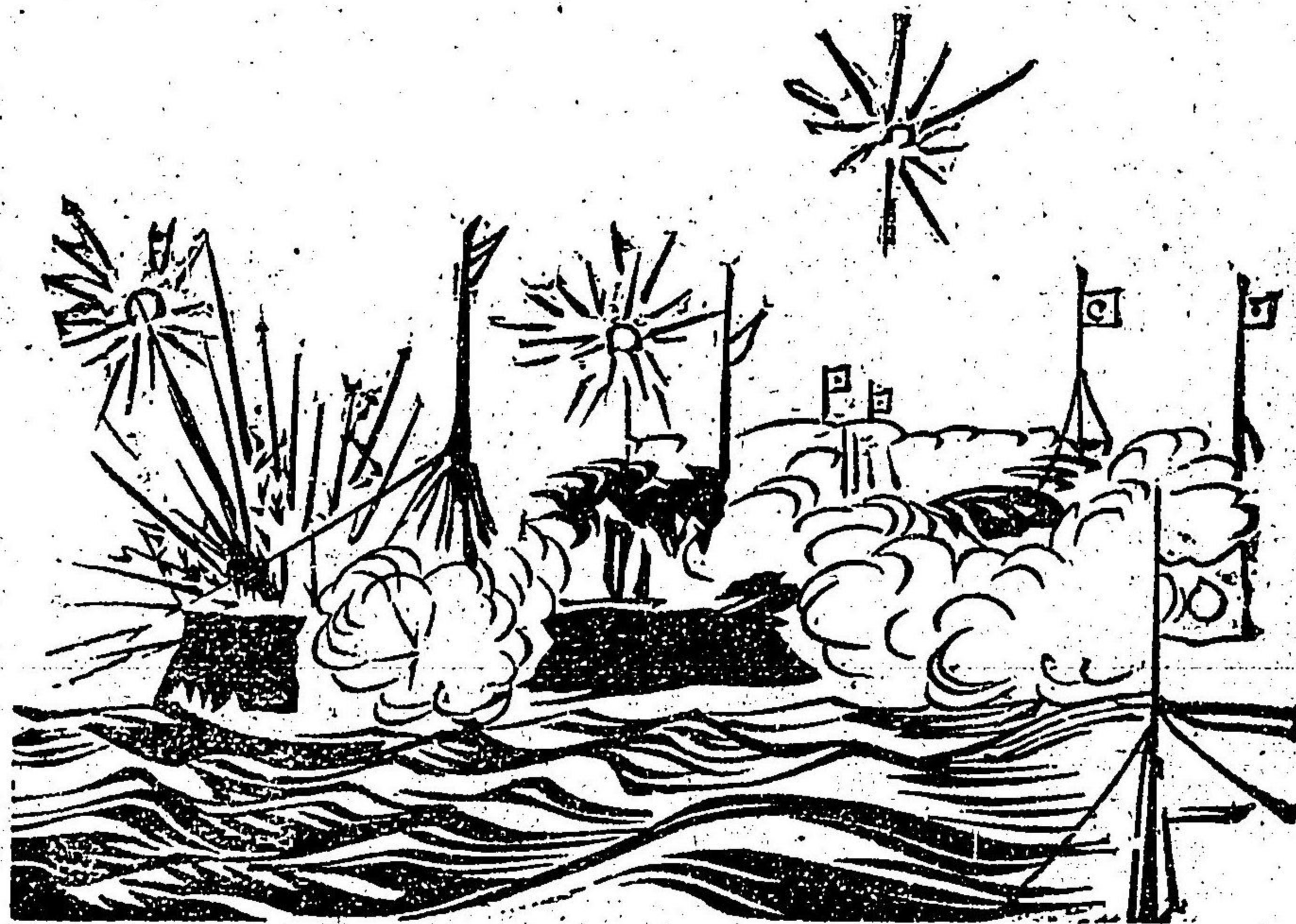
やコレナンマイ濟

ましやせぬ

○ドンく節

(支那の前途)

何が強いぞ支那が





ま見やれ、ドンく以後のやぶれを見てこまを  
マイチヨカチ、ソカチ、ドンドン

○ヒヨコマノホイ

右と同じ唄にて、終に、ヒヨコホイ、ヒヨコ、ヒヨコ

マノホイ

○一ちくたつちく (臺場くづし)

そつちの大事の臺場サ、守れる人がね、神國艦に  
撃たれて、泣く聲聞けばね、ホー、ホー、ホラノカヒ

◎おまへ一人と定めておいて

(偽の降参)

るらい敵じやと畏れて置いて遁る其場の下心

オヤマカチヤソリン 蕎麥屋の風鈴

○キクラカチヤカポコ (敵艦の沈没)

のろい心どキンニヨムニヨム、支那軍艦は知ら

ず深みへ、キムニヨムニヨム、はめられる、キクラ

カチヤカポコ、チヨイト、キムニヨムニヨム

○キビスカン (葉志超の偽報)

支那人が戦敗けても、勝たと云ふて、るらい虚言



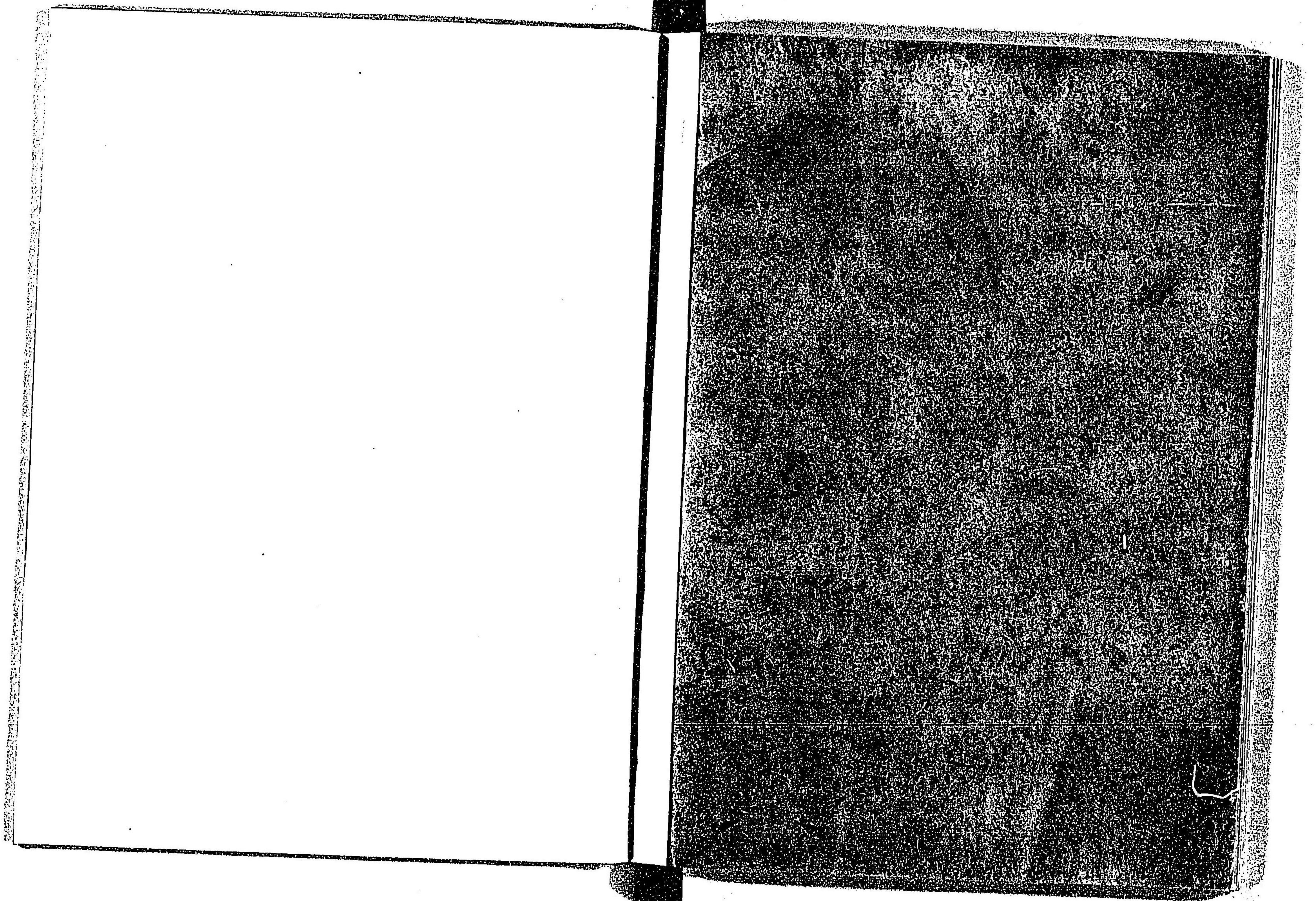
つく白痴者、キビスカン、イガイドンス、さん  
もくれんのすくれつぼ、スツチヤンマン、く、カ、  
ンマンカイノ、オツペラポーノキンライライ

日清戦争流行かへうた 終

明治廿八年三月五日印刷全月廿九日發行

編輯兼	大坂市南區末吉橋通	大
發行者	四丁目八十六番邸	淵
印刷者	大坂市東區平野町	山
	二丁目廿四番邸	上
發行所	大坂心齋橋北詰	貞
		二
		郎
		涉
		駿
		々
		堂







Vertical text on the left edge of the blacked-out area, possibly a page number or reference code.



特53

127

日清戦争 流行かへうた

国立国会図書館

074408-000-3

特53-127

日清戦争流行かへうた

松の舎 みどり/調

M28

CEI-1660

